

【北海道】「今まで脇目も振らずに無我夢中でやってきた。ここまでの10年はあつと言つ間だった。しかし、これから、10年後どころか5年



先でさえ、どうなっているかは分からない。油断せずに、今後もプレイングマネージャーとして最善を尽くし、即行

ネクスト社長

岩村 大樹氏

動していく」と語るのは、12月1日、創立10周年を迎えたネクスト（北海道北広島市）の岩村大樹社長（62）。同社は、リベラ（隅田耕次社長、広島県呉市）と三協（藤木幸三社長、横浜市中区）の共同出資によって06年に設立。岩

村氏は三協の海務課から会社更生法を適用した前身となる東日本輸送に調査役として出向し、ネクスト設立と同時に社長に就任した。

「海運事業に携わってきた私にとって、トラック運送事業は初めての業種。知識が無かったので、とにかく汗水を流すことしかできなかった。過から黒字転換を達成した。

設立当時から社員とのコミニケーションを密に、自ら現場に赴くことで課題解決に注力。設立から5年で債務超過から黒字転換を達成した。16年2月には苫小牧営業所の事務所を建て替えた。12月17日には、敷地面積3300平方メートル、鉄骨造りの3階建てで、延べ床面積1740平方メートルの事務所を建設し、関東支店を新築移転するなど、ハード面の整備を進めている。「これからは初心を忘れず、フットワークを軽くし、どこにでも飛んでいくつもり。コンプライアンス（法令順守）と安全管理に注力することも、関西エリアでの拠点新設を視野に更なる輸送力強化を目指す」（北原進之輔）

最善尽くし即行動

関西エリア 拠点新設を視野

村氏は三協の海務課から会社更生法を適用した前身となる東日本輸送に調査役として出向し、ネクスト設立と同時に社長に就任した。

マイナスからのスタートだったが、一歩ずつ着実に前に進んでくれた。こんな秋に社員たちもよく付いて来てくれた。

これまで老朽化したシャシー70台のリプレイスを行い、12年10月には子会社のネクストロジスティクス（奈良昌紀社長、北海道北広島市）を設立。

16年2月には苫小牧営業所の事務所を建て替えた。12月17日には、敷地面積3300平方メートル、鉄骨造りの3階建てで、延べ床面積1740平方メートルの事務所を建設し、関東支店を新築移転するなど、ハード面の整備を進めている。「これからは初心を忘れず、フットワークを軽くし、どこにでも飛んでいくつもり。コンプライアンス（法令順守）と安全管理に注力することも、関西エリアでの拠点新設を視野に更なる輸送力強化を目指す」（北原進之輔）